

平成28年（2016年）年3月29日

相鉄線沿線の魅力を動画とリーフレットで紹介する そうてつストーリー SOTETSU STORYを開始

プロローグ編（第1話）はモデルのマギーさんを起用

相模鉄道株式会社

相鉄グループの相模鉄道株（本社・横浜市西区、社長・小澤重男）では、平成28年（2016年）3月30日（水）から相鉄線沿線の魅力を動画とリーフレットで紹介する「SOTETSU STORY」（そうてつストーリー）を開始します。

これは、相鉄線が都心への相互直通運転を予定していることから、相鉄線沿線のイメージアップや沿線外への認知度向上を図るため、沿線を舞台とした「洗練された、ゆとりある暮らし」をストーリー仕立てのオムニバス作品として、全6話（予定）の動画とリーフレットにまとめ、沿線や都内の相鉄グループ施設、協力施設などで放映・配布するものです。

第1弾はプロローグ編として、神奈川県出身で20代から30代の女性に人気の高いモデルのマギーさんを起用。沿線の中でも「暮らしに寄り添った洗練された街」のイメージが強い緑園都市駅周辺で、緑豊かな街の環境や、こだわりの人、地元グルメなどを織り交ぜながら相鉄沿線の魅力を紹介します。

相鉄グループでは、これまでも駅や電車、グループ施設で映画・ドラマ・CMなどの撮影に協力し、ロケ地マップなどを作成して認知度の向上に努めてまいりました。今回はロケ地として相鉄線を知っていただく取り組みから、この「SOTETSU STORY」を通じて沿線の魅力を発信し、沿線のお客様には「住み続けたい」と思ってもらえるように、また沿線外の方々にも“知っていただき、来ていただき、住んでいただく”ための、一歩踏み込んだ新たな取り組みです。

概要は別紙のとおりです。



沿線の魅力が詰まったリーフレット（イメージ）

「SOTETSU STORY」(そうてつストーリー)の概要

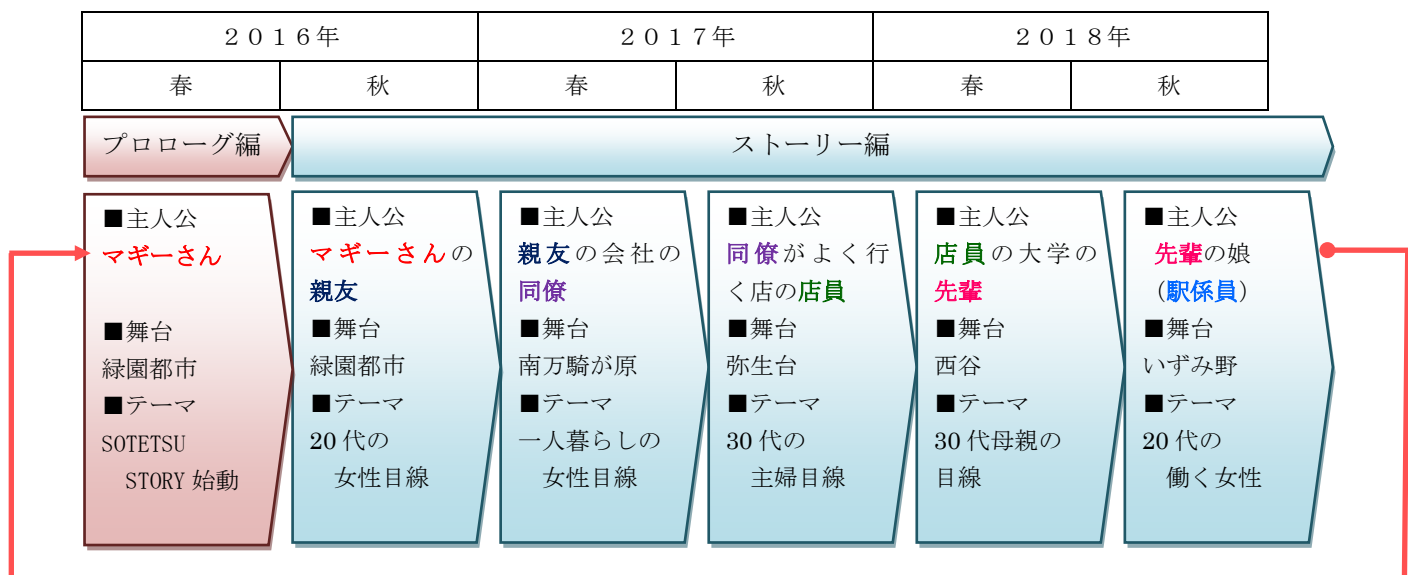
1. コンセプト

相鉄線沿線での「洗練された、ゆとりある暮らし」をストーリー仕立てのオムニバス作品を全6話(予定)を作成します。ご覧になった皆様に「相鉄線沿線っていいな」と思っただけの“きっかけづくり”を行います。

2. 今後の展開

「SOTETSU STORY」のスタートを広くお伝えするためのプロローグ編(第1話)と、相鉄線沿線の魅力をストーリー仕立てのオムニバス作品として伝えるストーリー編(全5話を予定)の2部で構成。プロローグ編では、20代~30代の女性に人気の高いモデル・マギーさんを起用し、相鉄線の中でも「暮らしに寄り添った洗練された街」のイメージが強い緑園都市駅周辺で、緑豊かな街の環境や、こだわりの人、地元グルメなどを織り交ぜながら相鉄沿線の魅力を紹介します。また、ストーリー編では各話の主人公が前話の主人公と接点のある人物(女性)として登場することで、「相鉄線沿線の人はみんなどこかで繋がっていて、何となく人情味があり、温かくて住みやすそうな街」というイメージをお持ちいただけるようなストーリー展開としています。

《ストーリー展開のイメージ》 *主人公や舞台、テーマはイメージであり変更されることがあります。



最終話の主人公となる**駅係員**は、プロローグ編でマギーさんが緑園都市駅に降りた際に駅周辺の案内をした女性。

3. 動画の放映場所(予定)

横浜駅や電車内(11000系)に設置のサイネージのほか、相鉄グループの施設に設置されているサイネージで、平成28年(2016年)3月30日(水)から順次放映します。

4. リーフレットの概要と配布場所

「SOTETSU STORY」の放映に合わせて、動画では伝えきれなかった相鉄線沿線の魅力情報や、ストーリーの内容などを紹介した、連動型リーフレット(A4判の全6ページ)を3万部作成(無くなり次第終了)します。相鉄線各駅(25駅)や相鉄グループの施設の他、グループ外の協力施設として都内の美容室や飲食店、ブライダル施設など20代~30代の女性が利用する施設(約70カ所)で平成28年(2016年)4月8日(金)から順次配布します。